

写真は語る。

第2回 河野達郎新春作品展

共催 大洲市観光総合宣伝事業推進協議会 後援 大洲市

作品制作協力 佐川印刷株式会社

壁紙大判印刷作品

地域イメージを構築する上で重要な役割を担っている写真6点をセレクトしました。



2022.03.08. / 06:56 / 大洲市高山
ILCE-7RM4+SEL24105G
この霧が秋冬には河口へと流れ出る。



2020.07.20. / 大洲市西大洲
ILCA-99M2+SAL70400G
2021年度愛媛広告賞受賞作品（原画）



2022.10.19. / 08:45 / 可動堰北側
ILCE-7RM4+SEL24105G
毎年9月21日以降の早朝に撮影可能



2021.06.08. / 06:41 / 大洲市渡場
ILCE-7RM4+SEL24105G
「城下町大洲」を印象づけたシーン



2022.06.02. / 05:31 / 大洲市蔵川郷
ILCE-7RM4+35mm F1.2 DG
撮影に入り8年目にして全国へ



2022.11.29. / 16:39. / 如法寺山門
ILCE-7RM4+35mm F1.2 DG
歴史的価値も高く人気の紅葉の名所

地域創生写真とは

撮影した写真の情報素材としての付加価値や独創的・話題性が絡むことで、当該地域やそこで生きる人々に刺激を与え、それにより新たな集客交流の動きが生まれる効果を有する写真及び撮影活動です。

そのために地域をどう撮るか。自らの撮影する写真の「効果」を想定しながらシャッターを切ります。撮るのは私、α7RIVは外すことのできない大切な「写真機」です。さらに、当該地域の歴史や資源などに関する知識の習得は、撮影した写真が「語る」かどうかの最も重要な要素であり、街づくり写真家に求められるスキルです。

この作品は、建築用壁紙クロスを使って、印刷技術を習得したオペレーターが確認しながら特殊印刷しています。実際に建築現場や公共施設などで活用され始めています。/ 展示作品サイズ=160×90cm

作品製作/佐川印刷株式会社 S.D.P (Sakawa Digital Printing Factory)

本社:愛媛県松山市問屋町6-21 S.D.P:愛媛県宇和島市吉田町北小路乙19-2

sakawa.co.jp

A2複合板作品



2022.04.03. / 春の大洲城 (大洲市)
(ILCE-7RM4 f=11 1/500秒 ISO=800)



2022.08.02. / 臥龍山荘庭園 (夏)
(ILCE-9 f=8 1/250秒 ISO=320)



2019.10.22. / 絶景高山一望 (大洲盆地)
(ILCE-7M3 f=11 0.8秒 ISO=100)



2019.11.17. / 絶景高山一望 (大洲盆地)
(ILCE-9 f=11 1/60秒 ISO=100)



2018.11.24. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-7M3 f=8 15秒 ISO=800)



2021.11.17. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-7RM4 f=8 1/4秒 ISO=100)



2018.11.24. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-7M3 f=10 1/10秒 ISO=200)



2020.12.03. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-9 f=11 1/160秒 ISO=800)



2019.11.08. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-9 f=11 1/500秒 ISO=100)



2021.01.15. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCE-9 f=11 1/500秒 ISO=320)



2018.01.21. / 肱川あらし (長浜町)
(ILCA-99M2 f=8 1/250秒 ISO=100)



2019.11.05. / 鮎の瀬張り漁 (大洲市)
(ILCE-9 f=8 1/200秒 ISO=800)



2022.07.25. / ひまわり少女 (太陽農園)
(ILCE-7RM4 f=8 1/2500秒 ISO=800)



2022.11.23. / 未来の大和尚 (るり姫まつ)
(ILCE-9 f=8 1/250秒 ISO=800)



2022.11.19. / 晩秋の稲荷神社 (大洲市)
(ILCE-7RM4 f=8 1/13秒 ISO=320)

写真は語る。

街づくり写真家
河野達郎



プロフィール

1998年から開始された大洲市の観光集客を軸とした街づくりに携わる。2004年に設立された大洲市の街づくり会社で事業を統括するプロデューサーを務め、観光地「城下町大洲」の基盤を形成する。2017年2月に心筋梗塞を発生し会社で倒れたことを機に退任を決意。事業全般を一般社団法人キタ・マネジメントに継承し2019年3月31日をもって退任、フリーの写真家に転身した。撮影活動スタイルは地域創生型撮影で現職時代に編集制作したビジュアル冊子類は20冊を超える。

- 2017年 歌手伍代夏子さんが歌う「肱川あらし」のCDジャケット背景写真、PVスチール等を担当
2月9日、会社で心筋梗塞を発生し意識不明に陥るも、運良く生還。
- 2018年 肱川あらしの撮影風景がNHKの取材を受け、総合テレビでドキュメンタリー番組として放送
- 2019年 退任し、フリーの写真家としてセカンドステージへ
- 2021年 第40回愛媛広告賞 最優秀賞受賞（大洲市観光ポスター）／愛媛広告協会
- 2022年 1月に個展「甦る。」を開催、7月にはソニーストア大阪のαGALLERYで、また、10月には松山市の萬翠荘（重要文化財）で百周年記念事業の一環としてそれぞれ作品展「写真は語る」を開催。これらの模様はNHKを始めメディアに取り上げられて話題となった。所属する日本風景写真家協会の第15回公式写真展「精密風景」（12月1日～12日開催／新宿：OM SYSTEM GALLERY）に作品出展。
なお、4月には退任後のセカンドステージでの活動を愛媛新聞の取材を受けて「人生幸路」として掲載された。

主な撮影実績：愛媛県、大洲市及び周辺市町からの地域情報素材撮影及び情報発信業務受託。内子町石畳地区の活動サポートと地域素材撮影、ビジュアルツール編集制作。オーベルジュ内子、料理旅館梅檀、石畳の宿など撮影多数。最近では、佐川印刷株式会社が展開するデジタル壁紙事業において、松山商工会議所やRICOHジャパン愛媛支社の会議室壁面用素材として松山城下を撮影した写真が採用されている。

2022.12.20.

河野達郎：1954年松山市生まれ / 街づくり写真家 / 所属：日本風景写真家協会（JSPA / 東京） / サポート：SONY Imaging PRO SUPPORT member・SIGMA PROFESSIONAL SERVICE / 制作サポート：佐川印刷株式会社 / 撮影の専門分野：肱川流域の大洲盆地に発生する雲海とこれに起因する肱川あらし。 / 愛媛県大洲市在住。